

柏市健康増進計画  
平成25年度進捗状況報告書

平成27年3月  
柏市

# 目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	7
3	休養・こころの健康	12
4	喫煙	17
5	飲酒	20
6	歯・口腔の健康	22
7	糖尿病	28
8	循環器疾患	31
9	がん	34

\*：事業も内容も全て再掲であるもの  
※：事業は再掲だが、内容は異なるもの

1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																
①成人女性のやせ(20歳代)[BMIが18.5未満]及び成人女性の肥満[BMI25.0以上]の減少																
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
保健所 成人健 診課	健康づくり相 談	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。		健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う									希望者の相談内容に即してアドバイスをを行っている。	平成27年度も同様に継続予定である。  ※本相談事業は、体重に関する相談があった場合に、その人に合った助言をしているのであって、このジャンルの知識を広く伝えている(普及)とは考えにくく、対象も、40歳以上である。従って、この事業の取り組みを成果(評価)の対象とすること、このジャンルに入れておくことに対して、再検討を希望する。		
					相談者数			147人	139人	132人						
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査(無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。									対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	平成27年度も、同様に継続予定である。  ※本事業は、健康診査が目的の第1である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。従って、この事業の取り組みを成果(評価)の対象とすること、このジャンルに入れておくことに対して、再検討を希望する。		
					受診者数			105人	132人	145人						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業(小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	○						給食実施回数(平均)			毎日の給食を通じ、バランスのよい食事のモデルとその栄養価を示すとともに、給食だよりを通じて啓発を行ってきたが、肥満の割合は平成24年度比で0.2ポイントの減、平成23年度比では0.5ポイントの増となっている。改善傾向が見られないことから、平成26年度は栄養バランスに優れているといわれる和食を中心とした食のモデル普及のための国の事業への参加や、親子料理教室などを通じた「作り手」となる保護者への啓発強化を図っている。  咀嚼の重要性については、学校歯科医と連携し、健康な口腔状態を維持するための事業を行っている。	短期間では大幅な改善がみられにくい指標であることから、引き続き給食を活かした適切な摂取量の習得に努める。 また、学校給食は1日の3食のうち1食であり、他の2食についてもバランスよく食べることを目標に、学校給食を発信源として、保護者や地域に対して栄養に係る啓発事業を強化していく。	
											H23	H24	H25			
											185回	185回	185回			
											対象者数					
											21930人	21465人	21430人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の人数					
											1360人	1479人	1432人			
肥満【標準体重の+20%以上】の割合																
6.2%	6.9%	6.7%														
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業(中学校)	給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量の体得、成長に必要な栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。		定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	△(中学生のみ)						給食実施回数(平均)			毎日の給食を通じ、バランスのよい食事のモデルとその栄養価を示すとともに、給食だよりを通じて啓発を行ってきたが、肥満の割合は平成24年度比で0.2ポイントの増、平成23年度比では0.2ポイントの減となっている。顕著な改善傾向は見られないが、平成26年度は、部活動を中心として、運動と栄養の重要性、また生活習慣病予防の指導に力を入れている。	引き続き成長期において栄養状況と与える影響の大きさについての啓発を進めていく。 また、学校給食は1日の3食のうち1食であり、他の2食についてもバランスよく食べることを目標に、学校給食を発信源として、保護者、地域に対しての栄養に係る啓発事業を強化していく。	
											H23	H24	H25			
											180回	180回	180回			
											対象者数					
											9678人	9823人	9886人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の人数					
											746人	715人	746人			
肥満【標準体重の+20%以上】の割合																
7.7%	7.3%	7.5%														
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課)  柏市保健所管内集団給食研究会	・肥満及びやせの割合の減少  ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数			・肥満及びやせの割合の把握について、H25年度に周知し、H26年度に栄養管理状況報告書の様式を変更して実施した。 ・健康増進を目的とした施設における未把握施設が4.6%あり、次年度に向けて検討するよう指導・助言した。	・各施設における、肥満及びやせの割合が、H26年度の結果を基準として、5%以上増加している施設に対し、指導・助言を行う。 ・今後は、肥満及びやせの割合の増加数を指標として考える。	
											H23	H24	H25			
											36件	20件	34件			

(2)野菜の摂取量の増加																
④野菜摂取量の増加の割合(成人)																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
経済産業部 農政課	食の安全・ 安心対策推 進事業	市職員が農産物をサン プリングし、放射性物質 検査を行う。また、検査結 果についてホームページ や広報などを通じて公表	①千葉県 ②㈱アトック ス技術開発セ ンター	風評被害の防 止										消費者の不安を取り除き、 安心して地元の農産物を購 入できるよう継続的に検査 を実施していく。また、検査 の頻度等に関しては、放射 性物質による影響範囲を見 極めながら、費用と効果の バランスに配慮し、全体とし ては縮小していく	引き続き食の安全安 心を確保するととも に、風評被害の防止 に取り組んでいく	
					検査品目数・検体数											
					H23	H24	H25	111品目 499検体	106品目 532検体	99品目 412検体						
保健所 地域健 康づくり 課	給食施設指 導事業(*)	①個別指導(各施設を個 別に巡回し、現地指導を 実施。電話、来所による 相談) ②集団指導(テーマに応 じ職種別、施設種類別に 研修会を開催) ③調査報告(各給食施設 の運営・栄養管理状況を 把握するため年2回調査 実施)	他課 (学校保健課 ・保育運営 課)  柏市保健所 管内集団給 食研究会	・給食施設の食 品構成における 野菜摂取量の 増加 ・野菜料理の残 渣量の減少 ・ヘルシーメニ ューの提供増加 ・啓発媒体活用 増加		△	△	△	○	○	△			・巡回指導における 指導・助言を強化し、 更なる向上を目指す 。 ・各施設が適切な食 事を提供すること、健 康に関する啓発をす ることで、家庭での食 事を見直すきっかけと する。		
					給食施設指導件数											
					H23	H24	H25	36件	20件	34件						

(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																
⑥朝食の欠食率の減少																
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。							○	○	受診者数 H23 H24 H25 105人 132人 145人	対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	平成27年度も、同様に継続予定である。  ※本事業は、健康診査が目的の第1である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。従って、この事業の取り組みを成果(評価)の対象とすること、このジャンルに入れておくことに対して、再検討を希望する。	
保健所 地域健 康づくり 課	母子保健食 育	<ママパパ学級・ママパパッキング> 妊娠期の食生活支援  <離乳食教室> 離乳食のすすめ方  <母と子のつどい・歯ピカ・幼児健診> 栄養講話と個別相談		「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。							○	△	3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の率 H23 H24 H25 36.5% 34.9% 37.2%	各事業でバランスのよい食事の啓発。保護者を通して子どもを含め家族の食事について意識付けができた。幼児健診受診者の保護者への啓発については、平成25年度に試行的に実施した上で、平成26年度は全員実施し、バランスのよい食事、野菜摂取について啓発した。	乳幼児対象事業であるが、家族の健康づくりを目的とし、引き続き保護者(成人)に啓発していく。後期離乳食教室を試行的に実施し、乳幼児の食生活に関する支援を強化する。	
													※H26より、主食・主菜・副菜のそろった食事の提供状況を把握するため、集計方法を変更している。			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
保健所 地域健康づくり課	栄養改善事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討)</li> <li>・健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録)</li> <li>・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成)</li> <li>・栄養士養成校保健所実習における指導(地域保健を担う従事者の育成)</li> <li>・講演会の企画(食育推進研修会、健康講座(病態))</li> <li>・柏市地域栄養相談システム(システムの効果的運用)</li> <li>・食品の特別用途表示、栄養表示基準指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市保健所管内調理師会</li> <li>・柏市保健所管内集団給食研究会</li> <li>・柏市医師会</li> </ul>	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加	△	△	△	△	△	△	研究会実施回数			<p>関係課、関係団体に向け食育推進研修会、調理師研修会を実施し、柏市健康増進計画の栄養・食生活の健康課題について周知、健康ちば協力店を活用した啓発(野菜ポスター、リーフレット配布)を行った。また、健康講座の実施や柏市のホームページで病院レシピを紹介し重症化予防の観点からのバランスのよい食事についても啓発を行った。平成26年度は、啓発箇所を広げ関係課からの対象者へ向けて推進できる資料を作成し活用を図った。野菜を通した食育をテーマに講演会を実施し各関係部署での食育に活用していけるものとした。</p>	関係課、関係団体と連携し引き続き周知、啓発を行う。病院レシピは更なる活用を図るため、医療機関への配布を検討する。	
					4回	3回	3回									
保健福祉部 福祉活動推進課	栄養改善事業	<p>国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、在宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保ち、要介護状態の予防を図るもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東葛地区在宅栄養士会</li> <li>②包括支援センター</li> </ul>	低栄養の改善							栄養改善事業参加状況			<p>☆基本チェックリストの変化(客観的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善(4人)</li> <li>・変化なし(6人)</li> </ul> <p>☆主観的評価の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善(8人)</li> <li>・変化なし(1名)</li> </ul> <p>☆目標達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成(2名)</li> <li>・ほぼ達成(6名)</li> <li>・未達成(1名)…調理を希望しなかったため</li> </ul> <p>○低栄養状態のかたが、自宅での栄養指導を希望するかたが少ない。</p> <p>○1件あたりの委託料は、6回の訪問で、5万円であり、2次予防事業全体に対し、費用対効果の課題があり、平成26年度に見直しのガイドラインが国の老健局より提示された。</p>	平成27年4月からの介護保険法制度改正の観点から、平成21年度～平成25年度の事業評価及び、2次予防事業全体の見直しを図った。国の方向性に伴い、当市では2次予防事業は廃止とし、制度改正後の「新しい総合事業の展開」(平成28年2月開始予定)に向け、準備・検討期間に入る。	
					209人	232人	269人	8人	6人	9人						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
こども部 保育運営課	クッキング保育	園児が種まきをする前に、豊作を願う集会を開き、栽培～収穫への意欲を育てる。保育園の園児が、作物を栽培し、育てた作物と同じ野菜を利用して、5歳児がクッキングを行い食べる。	各公立保育園の保育士、調理員と保育運営課栄養士との連携※一部の保育園では、地域住民との連携有り。	自分たちで育てたものを、友達と一緒に調理し、食べる喜びを味わうことで、食に関心を持つ。							クッキング保育実施園数			全公立保育園で実施することで、小さい頃から食に関心を高めることができる機会となっている。今後も継続し全公立保育園で実施できるようにする。	クッキング保育がより効果的に実施できるよう、今後も他職種連携の下実施の継続を図る。	
											H23	H24	H25			
											22園 (5歳児全員参加)	22園 (5歳児全員参加)	22園 (5歳児全員参加)			

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着																
①運動習慣者の割合の増加																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
地域づくり推進部 協働推進課	各種スポーツ教室の開催	<p>&lt;JR野球教室&gt; 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p>&lt;バスケットボール教室&gt; 市内ミニバスケットボールチーム所属している小学生を対象に日立サンロッカーズ/JX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ティーボール教室&gt; 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ランニングクリニック&gt; 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>日立サンロッカーズ</p> <p>JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>YBC柏</p>	<p>市のスポーツを活かしたまちづくりの推進</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること</p>								<p>各スポーツ教室参加者合計</p> <p>H23 ※ティーボール教室未実施</p> <p>H24 ※バスケットボール教室</p> <p>H25</p> <p>343人</p> <p>1,357人</p> <p>832人</p>	<p>平成25年度は全てのスポーツ教室を開催することができた。参加人数も832人と多くの人を対象に、技術力の向上やホームタウンチームを活かしたまちづくりを推進してきた。</p> <p>平成26年度も各教室を開催し689人の参加者となった。</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームを活かしたまちづくりの推進を進め柏市への愛着を深めることが大きな目的だが、結果として運動による体力の向上等、健康増進に寄与している。</p>	<p>引き続き各教室を開催する。</p> <p>継続的に開催し参加者の意識に定着することは左記目的を達成することにおいて重要なこととなる。</p>		
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(運動でからだ元気塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター	週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。								<p>事業効果のあった参加者割合</p> <p>H23</p> <p>H24</p> <p>H25</p> <p>67%</p> <p>88.40%</p> <p>73.10%</p>	<p>継続的に運動を行える機会に対する満足度は高く、継続的な参加を希望する者が多い。一方、参加者の固定化等から、事業の見直しが必要</p>	<p>市民の身近な地域で、事業を開催することとし、ロコモフィットかしわ事業に吸収する。</p>		
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(ロコモフィットかしわ)	市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。	東京大学	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、介護予防を推進する。								<p>ロコモフィットかしわ参加者数</p> <p>H23</p> <p>H24</p> <p>H25</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>127人</p>	<p>市内3会場において、モデル的に実施した。市民ニーズは高く、参加者は、ロコモ予防の重要性について理解し、実践できた。高齢者になる前の世代の参加に向けた対策が課題。</p>	<p>市民の身近な地域において、気軽に参加できるように、会場数を拡大し実施する</p>		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度 の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																						
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク	<p>&lt;地域ウォーキング講座&gt;            柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt;            歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p>	柏市民健康づくり推進員 市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>								<p>地域健康講座(ウォーキング)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況</p> <p>H23 H24 H25</p> <p>地域健康講座実施回数 19回 13回 18回</p> <p>地域健康講座参加者数 594人 239人 274人</p> <p>手賀沼ふれあいウォーク実施回数 1回 1回 1回</p> <p>手賀沼ふれあいウォーク参加者数 982人 664人 773人</p>	<p>平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて</p> <p>運動に取り組むきっかけづくりとなったと考える。地域ウォーキング講座は、地域の仲間づくりにもつながった。 平成26年度手賀沼ふれあいウォークにおいては成年期・壮年期の参加者増をねらって実施した。</p>	<p>地域の実情に合わせて、引き続き地域ウォーキング講座の実施、ウォーキングマップの作成の準備をしていく。 他課のウォーキングのマップやイベントを把握し、当該ホームページで紹介していく。</p>																																		
					保健所 地域健康づくり課	地域運動講座	柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座	柏市民健康づくり推進員	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>											<p>地域健康講座(ウォーキング)以外の運動実施状況</p> <p>H23 H24 H25</p> <p>実施回数 1回 2回 4回</p> <p>参加者数 53人 118人 98人</p>	<p>運動に取り組むきっかけづくりとなったと考える。さらなる参加者の向上のために、啓発の強化や地域に合った対象者の設定や内容の工夫を行っていく必要があると考える。</p>	<p>運動習慣や運動時間の少ない地域などの地域差を把握して、実情に合わせた対応を考慮していく。</p>																										
										生涯学習部 スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。				-	スポーツ施設利用者数の増加											<p>スポーツ施設利用者数</p> <p>H23 H24 H25</p> <p>707,214人 766,845人 783,387人</p>	<p>平成26年度末に、利便性向上の為、システムの入替えを行う。</p>	<p>新システムを継続して運用していく。</p>																		
																		生涯学習部 スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。				市内各小中学校	利用者数の増加											<p>学校体育施設利用者数</p> <p>H23 H24 H25</p> <p>450,371人 458,066人 334,952人</p>	<p>平成24年度より市立柏高校の開放を開始。 平成25年度より手賀東小、風早南部小、柏の葉小学校の開放を開始。これにより市立の全小中高校の学校開放が実施された。</p>	<p>現時点で、市内の全ての市立小学校、中学校の開放が実施されているため、継続して実施していく。</p>										
																										生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動					地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上											<p>スポーツ推進委員活動参加者数</p> <p>H23 H24 H25</p> <p>3,450人 4,336人 2,876人</p>	<p>柏市発祥のスポーツ『ふわどっち』の普及を目指す。 ※平成25年度の大規模な参加者減は、支部祭の参加者数の算出方法を変更したため。</p>	<p>継続して実施。</p>	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
生涯学習部 スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援します。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加							市内クラブ会員数			平成25年度柏の葉小学校の開校に併せ2クラブが新設された。	既設のクラブを会場とした普及活動を継続して実施していく。	
											H23	H24	H25			
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催します。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会他	参加者の増加	○	○	○	○	○		スポーツ教室・講習会参加者数			平成25年度より体カテストの日数を増やした。また、スポーツ実施のきっかけづくりの為に講演会を実施した。平成26年度から柏市の事業であった親子体操教室を指定管理者の事業として実施する。	東京オリンピックパラリンピックに向け、競技スポーツ啓発のための講演会や教室を実施する。	
											H23	H24	H25			
生涯学習部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加							交付団体の市民大会などの参加者数			スポーツ施設の利用状況が飽和状況にある中で、同じ方法ではこれ以上の参加者の増加は見込めない。※H25年度の急増は体育協会の市民大会参加者の算出方法の変更によるもの	スポーツ施設の利用について各団体と調整しながら継続して実施していく。	
											H23	H24	H25			
生涯学習部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会他	参加者の増加							新春マラソン大会参加者数			平成25年度は会場の改修工事の為、中止となった。平成26年度再開する。	継続して実施。	
											H23	H24	H25			
生涯学習部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会他	参加者の増加							手賀沼エコマラソン大会参加者数			平成26年度は20回記念大会として実施する。	継続して実施。	
											H23	H24	H25			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目  ②「小学校体育授業サポ ート事業」 小学校10校・特別支援 学級を中心とした体育の 授業支援  ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中 学校体育連 盟柏支部	①児童生徒の 体力向上  ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上  ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上							○	△	①全国平均を上回る項目			①平成24年度よりは全国を 上回る項目が増加したが、 平成23年度の水準に戻っ ただけという状況である。最 大の課題である投力に関し ても改善は見られない。平 成26年度は投力の向上を 課題として、実技講習会等 の中で、効果的な取り組み を周知していきたい。  ②この事業は該当校の評価 が高く、市内の大半の学校 が配置を要望しているが、1 /3の学校にしかスタッフを配 置できないのが現状である 。よって、配置が必要な学校 を見極め、適切な配置を行 い、最大限の効果があげら るよう運用していきたい。  ③派遣された学校で効果的 に活用されており、今のと ころ大きな問題はないが、体 罰等の問題が発生しないよ う、指導者の意識を高める べく、学校と連携して取り組 んでいきたい。	①分析ソフトの活用によ る綿密な実態把握 と好事例の周知によ り、全国平均を上回る 項目70%を目指す。  ②継続して、該当校 の満足度100%を目 指す。  ③生徒の意欲・技能 の向上を図るととも に、安全・安心な部活 動運営ができるよう、 運動部活動指導者へ の啓発を行う。	
													H23	H24	H25			
													61.8%	54.2%	62.5%			
													②年間210時間の授業支援・ 実施校の満足度					
													100%	100%	100%			
③中学校運動部活動指導者派遣数																		
各校 2~5人 計80人	各校 2~5人 計80人	各校 2~5人 計80人																
学校教 育部 教育研 究所	幼児教育の 推進(柏市 幼児教育共 同研究)	幼児教育の今日的課題 をもとに、研究テーマ(運 動遊び)を設定し、教育 委員会と市内全幼稚園・ 全保育園が共同で実践 研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚 園 市内全保育 園	教職員の力量と 専門性の向上  幼児の体力・運 動能力の基礎 を培う							○	実施幼稚園数			平成25年度は全幼稚園・全 保育園参加の研究体制2年 目となり、保育現場での運 動遊びの充実を図ることが できた。 平成26年度は、保護者への 啓発に重点をおいた。5周年 の節目の事業として、11月 には柏の葉公園総合競技場 で「みんなで遊ぼう60分!!」の イベントを開催した。	5年間の研究成果の 蓄積を生かしながら、 保育者の指導力向上 ・幼児の運動能力向上 を目指す。そのた めにより具体的な研 究・研修方法を推進し ていく。		
												H23	H24	H25				
												34園	34園	33園				
												実施幼稚園児数						
												5,872人	5,804人	5,752人				
												実施保育園数						
												10園	38園	41園				
実施保育園児数																		
316人	1,616人	1,733人																

(2) 身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり																						
②1日の歩行時間の増加																						
③地域活動やボランティア活動への参加意識向上																						
所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク(*)	<p>&lt;地域ウォーキング講座&gt;            柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt;            歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p>	柏市民健康づくり推進員 市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>								△	<p>地域健康講座(ウォーキング)・手賀沼ふれあいウォーク実施状況</p> <p>H23      H24      H25</p> <p>地域健康講座実施回数</p> <p>19回      13回      18回</p> <p>地域健康講座参加者数</p> <p>594人      239人      274人</p> <p>手賀沼ふれあいウォーク実施回数</p> <p>1回      1回      1回</p> <p>手賀沼ふれあいウォーク参加者数</p> <p>982人      664人      773人</p>	<p>運動に取り組むきっかけづくりとなったと考える。地域ウォーキング講座は、地域の仲間づくりにもつながった。平成26年度手賀沼ふれあいウォークにおいては成年期・壮年期の参加者増をねらって実施した。</p>	<p>地域の実情に合わせて、引き続き地域ウォーキング講座の実施、ウォーキングマップの作成の準備をしていく。他課のウォーキングのマップやイベントを把握し、当課ホームページで紹介していく。</p>							
					スポーツ推進委員活動(*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加と、スポーツ実施率の向上											<p>スポーツ推進委員活動参加者数</p> <p>H23      H24      H25</p> <p>3,450人      4,336人      2,876人</p>	<p>柏市発祥のスポーツ『ふわどっち』の普及を目指す。※平成25年度の大規模な参加者減は、支部祭の参加者数の算出方法を変更したため。</p>	継続して実施。	

### 3. 休養・こころの健康

(1) 睡眠等による十分な休養の確保																
① 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 保健予 防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数			平成25年度は市民講座の代わりに、柏まつりにて精神保健福祉の普及啓発を図った。自助団体や関係団体等の当事者メンバーやスタッフとの交流はできたが、出店の場で普及啓発は難しかったため、平成26年度は市民講座を再開した。	継続実施予定	
											H23	H24	H25			
											延203人	延339人	延228人			
											市民講座参加者数					
											71人	80人	一人			
柏まつりへの出店・参加団体数																
—			—			6										
(2) 上手なストレス解消																
② ストレスを感じた人の割合の減少																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 保健予 防課	こころの病気の啓発・普及活動(*)	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数			平成25年度は市民講座の代わりに、柏まつりにて精神保健福祉の普及啓発を図った。自助団体や関係団体等の当事者メンバーやスタッフとの交流はできたが、出店の場で普及啓発は難しかったため、平成26年度は市民講座を再開した。	継続実施予定	
											H23	H24	H25			
											延203人	延339人	延228人			
											市民講座参加者数					
											71人	80人	一人			
柏まつりへの出店・参加団体数																
—			—			6										
保健所 保健予 防課	本人・家族の相談・訪問支援等	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数			面談や訪問・電話相談件数は増加傾向にあり、問題も多機関に渡り複雑化している。より多くの関係機関と連携を取り、きめ細かな支援を実施していく。	継続実施予定	
											H23	H24	H25			
											60件	55件	65件			
											職員による面談や訪問					
											1,319件	1,682件	694件			
電話相談																
4,410件			5,890件			6,797件										

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
こども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域健康づくり課	ブックスタート事業	市民ボランティアのかたが1歳6か月健診の受診の親子に対して、読み聞かせを行い、絵本を開く楽しい体験を伝えるとともに絵本をお渡ししている。読み聞かせの大切さや親子でことばかけの大切さを伝える。	柏市ふれあいブックスタートの会 子育て支援課 地域健康づくり課	絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む	○			○			ブックスタート実施数			平成25年度は、延べ600人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施(受診者のうち99.6%)。すべての受診者が事業を受けていないため、会場内で地域健康づくり課担当職員と連携を図り、受取者数増加に努めた。平成26年度は、事業を継続しながら、ブックスタートの周知強化及び他事業の連携の研修を実施した。	本事業は、平成25年度の仕分け対象事業として、「読み聞かせの大事さを訴えることに主眼を置く。」「絵本というツールを活用した他事業との連携等を検討する。」との市の最終判断を受けている。事業を継続しながら、柏市の現状に合った事業のあり方や他事業の連携等、実施方法を検討していく。
											H23	H24	H25		
こども部 子育て支援課 こども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)		子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。	○			○			地域子育て支援事業 延利用者数			民間の子育て支援施設が増え、利用者が増えた。市内のさまざまな場所へのパンフレット配布や、「はぐはぐ柏」等への掲載により周知を図り、参加人数の増加を更に図っていく。	子育て中の親子の孤立や不安緩和のため、子育て支援拠点の充実を図るとともに、関係機関との連携を深め、保護者が安心して子育てをしていける環境を目指していく。
											H23	H24	H25		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 いきいき健康ライフ講座 (笑って長生き免疫力を高め健康でいきいき人生)	成人を対象とした2部構成の講座の第1部、人間の自然治癒力と笑いについて学び、大いに笑って免疫力を高めて健康を高める。第2部は落語を鑑賞する。	—	笑いの効果を学び、生活の中で笑いを取り入れ健康で長生きをする。				○	○	○	講座実施状況 H23 H24 H25 1回 参加者172 応募者180			成人を対象に様々な事業の中でストレスについて学び、その向き合い方として、笑いや笑いヨガなどの実践を取り入れた講座を開催して、参加者にその効果を体験してもらっている。 平成26年度は、高齢者教育事業で、笑いが免疫力を高め、健康になることや、ストレスとの向き合い方を学び、笑いヨガを開催した。	ストレスについて学び、その向き合い方、対応方法などを実践できる講座を引き続き実施していく。	
	成人教育事業 現代課題講座全2回 (健康づくり) 「笑いヨガ」	成人を対象に健康づくりをテーマとした2回の講座の第1部、笑いヨガの呼吸法を取り入れて声を出して笑うことによって新しい酸素を体内に取り入れ、笑いを一つのエクササイズとする。 第2部は股関節柔軟体操	—	15分から20分笑い続けることによりリラックスして健康効果を得る。				○	○	○	講座実施状況 H23 H24 H25 1回 参加者48 応募者97					
	地域づくり事業 現代課題講座全4回 「中高年さわやかハッピー人生！」	成人を対象とした4回講座の第3回。 「ストレスと向き合う」をテーマにストレスを減らすリラクゼーション法として笑いヨガの実技を行う。 第1回、健康で長生きするための知恵 第2回、健康・生きがい作りの気づきあい「くすりと賢い付き合い方」 第4回、「日本の調べ」「先人の生き方に学ぶ」	柏市生涯学習ボランティア	ストレスについて学び、日々溜まるストレスを減らすリラクゼーションを実践し、脳・心・体の疲労をケアしていく方法を学ぶ。				○	○	○	講座実施状況 H23 H24 H25 1回 参加者25 応募者61					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
生涯学習部 沼南公民館	高齢者教育事業 いきいきセミナー「生涯現役、人間力向上」	「生涯現役、人間力向上」をテーマに高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々と交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的な能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。							○	講座実施状況 H23 H24 H25 6回 121人 90%	高齢者対象の事業は、参加率が高く、積極的に学習に取り組んでいただけるので、各回毎に趣向をこらした内容の講座が組める。次年度以降は受講者と一緒に考える方式で取り組んでいきたい。	次年度同様で取り組む。	
	高齢者教育事業 いきいきセミナー	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々と交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的な能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。							○	講座実施状況 H23 H24 H25 実施回数 — 5回 7回 実施人数 — 104人 171人 実施率 — 69.33% 81.43%			

(3)自殺予防対策

③自殺者数の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健福祉部 保健福祉総務課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	○	自殺者数 H23 H24 H25 70 78 73 人口10万人対率 17.3 19.3 18	平成25年度は、年2回自殺予防対策連絡会議を開催し、各団体間の情報共有をはかることができた。平成26年度についても、引き続き自殺予防対策連絡会議にて情報共有をはかりながら、各団体間との連携を図っていく。	平成27年度も継続的に実施し、連携構築を図っていく。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健福祉部 保健福祉総務課	千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業	各分野ごとに施策を実施するワーキンググループ(地域、労働、教育、医療)を中心に相談支援事業・普及啓発事業・人材育成事業・調査研究事業・自死遺族支援事業を実施	柏市医師会、柏市社会福祉協議会、千葉大学、社会福祉法人等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数			平成25年度は、事業を拡大し、相談窓口の設置やゲートキーパー研修の他、企業のメンタルヘルス対策、教員向けの研修及び医療従事者向けの研修を実施した。多方面からアプローチすることで様々な対象へ向けた事業を実施することができた。平成26年度には、それぞれの事業の定着を図った。	平成27年度は、事業を評価・精査し、より効果的な事業の実施を図っていく。	
											H23	H24	H25			
											70	78	73			
											人口10万人対率					
										17.3	19.3	18				
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等(*)	<こころの健康相談>精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数			面談や訪問・電話相談件数は増加傾向にあり、問題も多機関に渡り複雑化している。より多くの関係機関と連携を取り、きめ細かな支援を実施していく。	継続実施予定	
											H23	H24	H25			
											60件	55件	65件			
											職員による面談や訪問					
											1,319件	1,682件	694件			
電話相談																
										4,410件	5,890件	6,797件				

4. 喫煙

(1) 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及															
① 喫煙率の減少															
② 禁煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加															
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・タバコ講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会</li> <li>・歯科医師会</li> <li>・薬剤師会</li> <li>・タバコ問題を考える会・千葉</li> <li>・学校</li> <li>・PTA</li> <li>・私立幼稚園協会</li> <li>・商工会議所</li> <li>・主任児童委員</li> <li>・柏市民健康づくり推進員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙をする市民が減る</li> <li>・喫煙をしない市民が増える</li> <li>・学校の周囲で喫煙する大人が減る</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	禁煙補助剤体験者数 H23 97人 H24 239人 H25 203人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙補助剤体験者は、H25年203名からH26年148名と減少した。</li> <li>理由:①26年度は「初めての方」のみ対象とした②周知が不十分③事業が4年目に入り、体験者が増加④申し込み期間が短い</li> <li>・出張講座の実施校が26校と減少したことから学校にアンケート調査を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙希望者が利用しやすい環境をつくる。</li> <li>⇒期限の延長。禁煙支援薬局の創設。禁煙を継続させるようなサポート体制をとる</li> <li>・ノースモツ子出張講座利用数増加にむけ、学校が利用しやすい環境をつくる。</li> <li>⇒申し込み方法の見直し等</li> </ul>		
					○	○	○	○	○	○	出張講座実施校数 22校 27校 29校				
					○	○	○	○	○	○	タバコ講演会実施回数 H23 1回 H24 1回 H25 1回				
					○	○	○	○	○	○	タバコ講演会参加者数 50人				
					○	○	○	○	○	○	私立幼稚園への受動喫煙リーフレット配布数 8,810枚				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・禁煙補助剤体験事業</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・タバコ講演会</li> <li>・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害や受動喫煙について正しい認識を持つ大人の増加</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども達をタバコの煙から守る」という目的のもと子どもを取り巻く大人へのアプローチを実施。平成26年度新たに、幼稚園協会向けリーフレットの作成や、主任児童委員、健康づくり推進員向けにタバコの講演会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを通じた知識の普及、啓発を行う。</li> <li>・乳幼児の保護者に対する受動喫煙の啓発を行う。</li> </ul>		
	(2) 受動喫煙の防止														
	③ 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少														
	所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦協議会会議</li> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座</li> <li>・タバコ講演会</li> <li>・禁煙・分煙ありがとう店登録店制度</li> <li>・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会</li> <li>・歯科医師会</li> <li>・薬剤師会</li> <li>・タバコ問題を考える会・千葉</li> <li>・商工会議所</li> <li>・環境サービス課</li> <li>・地域支援課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動喫煙による健康被害の減少</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店 H23 230店 H24 223店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度禁煙・分煙ありがとう店登録店舗向現状確認を実施。</li> <li>・店舗の入れ替わりが激しく正確な情報を公表するのが困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステッカー掲示店舗、市民ともにメリットを感じられるようにする。</li> <li>・関連課との協働による街頭禁煙キャンペーン</li> <li>⇒柏まつり</li> </ul>		
					○	○	○	○	○	○					
					○	○	○	○	○	○					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
環境部 環境サービス課	ばい捨て等 防止事業	柏市民・来訪者に対し、ばい捨て・路上喫煙防止や条例周知を目的に、路上喫煙等防止パトロール、啓発看板・路面シール・横断幕の設置、広報・ばい捨て防止啓発キャンペーン・駅前アナウンス放送等を実施。	—	ばい捨て、路上喫煙・歩行喫煙者の減少。(路上喫煙者等減少に伴う、路上における受動喫煙被害の軽減。)			△	○	○	△	過料徴収件数			平成25年度は新規横断幕を一新した啓発物の作成や緊急雇用創出事業臨時特例基金の一環として各駅における路上喫煙等防止パトロール事業を実施。そのため、環境美化の促進、路上喫煙者等は減少に繋がったが、さらなる広域的な条例(柏市ばい捨て等防止条例)周知を目的に、平成26年度は千葉県近隣15市における「路上喫煙等に関する条例担当者連絡会」に加入。広域的なキャンペーン活動を実施するとともに、路上喫煙等防止路面シールの設置箇所の見直し・設置等を行った。	今後も近隣15市合同での広域的な条例周知に取り組みとともに、市内各駅周辺におけるばい捨てごみの減少や、啓発物資等の見直しを行う。	
										806件	301件	326件				

(3)禁煙の支援

④禁煙達成率

⑤成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25							
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙補助剤体験事業</li> <li>禁煙外来をHPで公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師会</li> <li>医師会</li> </ul>	禁煙する市民が増える					○	○	○	禁煙補助剤体験者数			<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙補助剤体験者は減少した。</li> <li>考えられる主な理由：①26年度は「初めての方」のみ対象とした②周知が不十分③事業が4年目に入り、体験をしたことのある方が増えている④申し込み期間が短い等。次年度に向け体制を変更する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙希望者が利用しやすい環境をつくる。</li> <li>⇒期限の延長・禁煙支援薬局の創設・禁煙を継続させるようなサポート体制の整備(体験後直後の方への支援)</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙外来をHPで公開</li> <li>禁煙補助剤体験申し込み者に一覧を渡す</li> <li>柏市国保特定健診受診者へ啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会</li> <li>保険年金課</li> </ul>	身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることを知るができる					○	○	○	市内禁煙外来実施医院数						<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度26件。禁煙外来を公開し、禁煙希望者には積極的にPRをした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビコマーシャルでも流れており禁煙外来での保険適応については浸透している。</li> <li>禁煙希望者に向けて禁煙外来を周知する。</li> </ul>	
												H23	H24	H25	97人	239人	203人			24件

(4)未成年者の喫煙防止																
⑥喫煙経験率																
⑦喫煙願望率																
⑧周知で喫煙する大人の存在率																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の喫煙経験率が減る</li> <li>・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る</li> <li>・タバコの害について正しく知ることができる</li> </ul>			○	○					出張講座実施校数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張講座の実施校がH25年29校と比べると、H26は26校と減少した。利用校増加に向けて学校にアンケート調査を実施。</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケートを実施「喫煙経験のある」子どもは前回調査(平成20年)と比較すると4.5%から2.5%に減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子出張講座利用数増加にむけて、学校が利用しやすい環境をつくる。</li> <li>・気軽に申し込めるよう制度を見直す。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏ノースモツ子作戦出張講座実施</li> <li>・柏ノースモツ子新聞発行</li> <li>・小中学校タバコに関するアンケート</li> <li>・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成</li> <li>・タバコ講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校</li> <li>・学校保健課</li> <li>・幼稚園協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコの害について正しく知る大人が増える</li> <li>・禁煙する大人が増える</li> </ul>					○	○	○		出張講座実施校数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校タバコに関するアンケートを実施。「周囲で喫煙している大人がいる」と回答した子どもは前回調査(平成20年)と比較すると64.3%から61.5%に減少している。</li> <li>・幼稚園保護者向け、受動喫煙防止リーフレット作成し配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校タバコに関するアンケートの結果を広報。HP、ノースモツ子新聞などで周知する。</li> <li>・柏ノースモツ子出張講座利用数増加にむけて、学校が利用しやすい環境をつくる。</li> <li>・気軽に申し込めるよう制度を見直す。</li> </ul>	

5. 飲酒

(1) 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																
① 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
(2) 健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止																
② 毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (※)	<p>〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。 〈アルコール・デイケアクラブ〉 アルコール依存者を対象に酒害教育やミーティングを通し新たなライフスタイルの形成を図る。 〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。 〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。</p>	柏断酒新生会	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。											精神保健福祉相談におけるアルコール相談は増加傾向にあるが、アルコール・デイケアクラブやアルコール家族教室への参加者は減少傾向にある。平成26年度は、アルコール事業の見直しを行った。	アルコール相談は継続実施。アルコール・デイケアクラブやアルコール家族教室は、市民や関係機関への啓発・周知を強化する。酒害教室は、ミーティングだけでなく、アルコール問題に関する講義を実施していく。
					アルコール相談 精神科医による相談数											
					H23	H24	H25									
					11件	9件	10件									
					アルコール相談 職員による面談や訪問数											
					290件	401件	359件									
					アルコール・デイケアクラブ 延参加者数											
					延157人	延207人	延182人									
アルコール家族教室 延参加者数																
延75人	延44人	延36人														
延酒害教室延参加者数人																
218人	284人	289人														

(3) 未成年者の飲酒防止																
③ 未成年者の飲酒経験率の減少																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25			

6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																
① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加																
② 12歳児のDMF歯数の減少																
③ 歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																
④ 40歳で喪失歯のない人の割合の増加																
⑤ 進行した歯肉炎(GPI指数3以上)を有する人の割合の減少																
⑥ 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加																
所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 地域健康づくり課	子育て支援事業(母と子のつどい)	妊婦、1歳6月児くらいまでの乳幼児と保護者を対象に、市内20地域で実施歯・口腔に関するワンポイント啓発、歯科相談	柏市民健康づくり推進員	・甘味食品や飲料を習慣化する児の割合の減少 ・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化	○						つどい参加者数(歯科の回のみ)			県の歯科に関するアンケート調査の結果から、柏市は「仕上げみがきに関して自信がない」保護者が近隣市町より多かったため、つどいの中で講話だけでなく、仕上げみがきの実践を取り入れた。また歯周疾患予防の一環として保護者対象にデンタルフロスの実演を行った。柏市の実態に合った健康教育を実践していくことで課題をクリアしていく。	食生活や歯みがき習慣などを含め家族の「健口づくり」について、啓発を実施していく。またフッ化物配合歯みがき剤の早期導入や効果的な活用方法について啓発強化を図っていく。	
											H23	H24	H25			
											9499人	6543人	6710人			
保健所 地域健康づくり課	2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業	<歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 <フッ化物> 2.6歳対象に医療機関にてフッ化物歯面塗布によるむし歯予防事業(無料受診券全対象者郵送)	柏歯科医師会 柏市医師会	・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○						3歳児健診受診状況			食生活や歯みがきに関する啓発を継続的に実施した結果、甘味食品や飲料を習慣化する児の割合の減少(3.1%→2.1%)及び仕上げみがきの習慣化(97.5%)が徹底されたため、健歯率が向上したと考えられる。さらに、健歯率を向上させるため、平成26年度はむし歯予防のためのフッ化物配合歯みがき剤の積極的な活用について啓発の強化を図っている。	フッ化物配合歯みがき剤の積極的な活用については引き続き啓発を実施していく。家族の「健口づくり」として、「成年期・壮年期」の定期健診を含めたかかりつけ歯科医の必要性を啓発していく。	
											H23	H24	H25			
											対象者数					
											3,863人	3,810人	3,791人			
											歯科受診者数					
											3,450人	3,344人	3,400人			
											健歯者数					
											2,710人	2,653人	2,813人			
											健歯者率					
											78.6%	79.3%	82.7%			

所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス																														
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																		
保健所 地域健康づくり課	母子歯科保健事業「歯っぴいかまくまかしわっ子作戦!!!」	<p>&lt;地域における依頼の健康教育&gt; 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>&lt;幼稚園・保育園等での歯みがき指導&gt; 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施</p>	<p>保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会</p>	<p>・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>							<p>○</p>		△	<table border="1"> <tr><th colspan="3">依頼の健康教育(母子)実施件数</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr> <tr><td>11件</td><td>3件</td><td>10件</td></tr> <tr><th colspan="3">実施者数</th></tr> <tr><td>236人</td><td>88人</td><td>264人</td></tr> <tr><th colspan="3">巡回歯みがき指導実施園数</th></tr> <tr><td>9園</td><td>12園</td><td>30園</td></tr> <tr><th colspan="3">巡回歯みがき指導実施者数</th></tr> <tr><td>1497人</td><td>1806人</td><td>2997人</td></tr> </table>	依頼の健康教育(母子)実施件数			H23	H24	H25	11件	3件	10件	実施者数			236人	88人	264人	巡回歯みがき指導実施園数			9園	12園	30園	巡回歯みがき指導実施者数			1497人	1806人	2997人	<p>幼稚園、保育園において食生活や歯みがきに関する一次予防を中心とした健康教育を継続的に実施した。各園での歯科保健に関する取り組みが主体的に行われたり、園児や保護者の歯や口腔の健康づくりへの関心が高まるなどの一定の効果が得られることは以前のアンケート調査から確認が取れた。</p> <p>平成26年度には各園のニーズに合った健康教育を積極的に実施し、園での継続的な健口づくりの支援を実施した。</p>	<p>一次予防の基盤づくりとして、新規の園への拡大を図る。また園児だけでなく、家族を含めた健口づくりの推進を図っていく。</p>	
		依頼の健康教育(母子)実施件数																																										
H23	H24	H25																																										
11件	3件	10件																																										
実施者数																																												
236人	88人	264人																																										
巡回歯みがき指導実施園数																																												
9園	12園	30園																																										
巡回歯みがき指導実施者数																																												
1497人	1806人	2997人																																										
		<p>小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	<p>学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会</p>	<p>・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>							<p>○</p>		△	<table border="1"> <tr><th colspan="3">実施校数(他学年の依頼校)</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr> <tr><td>12校</td><td>23校</td><td>30校</td></tr> <tr><th colspan="3">他学年依頼の健康教育実施者数</th></tr> <tr><td>1566人</td><td>2084人</td><td>2559人</td></tr> <tr><th colspan="3">12歳児の健歯者率</th></tr> <tr><td>44.2%</td><td>44.2%</td><td>50.2%</td></tr> <tr><th colspan="3">12歳児のDMF歯数</th></tr> <tr><td>1.67本</td><td>1.49本</td><td>1.28本</td></tr> </table>	実施校数(他学年の依頼校)			H23	H24	H25	12校	23校	30校	他学年依頼の健康教育実施者数			1566人	2084人	2559人	12歳児の健歯者率			44.2%	44.2%	50.2%	12歳児のDMF歯数			1.67本	1.49本	1.28本	<p>より利用しやすい事業を目指し、周知方法や実施方法を検討した結果、実施校数が増加した。健康教育を継続的に実施したことで、歯科疾患の予防に意識して取り組み、健歯数率が増加し、DMF歯数は減少した。</p> <p>平成26年度については、学校歯科健診の受診状況をデータ分析し、新たなアプローチ方法の検討をした。</p>	<p>学校歯科健診の受診状況をデータ分析を基にモデル校を設置し、柏歯科医師会、学校、保健所の3者で連携を図り、効果的なアプローチを実施していく。</p> <p>また、フッ化物配合歯みがき剤の積極的な活用及び予防啓発の強化を図る。</p> <p>家族の健口づくりについても積極的に啓発を図る。</p>	
実施校数(他学年の依頼校)																																												
H23	H24	H25																																										
12校	23校	30校																																										
他学年依頼の健康教育実施者数																																												
1566人	2084人	2559人																																										
12歳児の健歯者率																																												
44.2%	44.2%	50.2%																																										
12歳児のDMF歯数																																												
1.67本	1.49本	1.28本																																										
学校教育 部 学校保健課	健康診断事業	<p>&lt;定期歯科健診&gt; 学校医による、全校児童生徒のう歯・歯肉・歯列等の健診</p> <p>&lt;歯みがき指導&gt; 保健所歯科衛生士による全小学校1年生を対象とした歯みがき指導(学校保健課で日程・人数調整)</p>	<p>学校歯科医 保健所</p>	<p>12歳児のDMF歯数の減少</p> <p>歯肉炎を有する人の割合の減少</p>							<p>○ ○</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="3">定期歯科健診状況</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr> <tr><th colspan="3">受診者数</th></tr> <tr><td>3271人</td><td>3319人</td><td>3270人</td></tr> <tr><th colspan="3">DMF歯数</th></tr> <tr><td>1.7</td><td>1.5</td><td>1.3</td></tr> </table>	定期歯科健診状況			H23	H24	H25	受診者数			3271人	3319人	3270人	DMF歯数			1.7	1.5	1.3	<p>定期健康診断に関しては、秋に2度目の健診を実施している学校もある。歯みがき指導に関しては、約半数の学校が小学校1年生以外の学年へ実施を希望している。</p>	<p>歯科医師会・保健所と連携し、校医の研修会等を実施する。養護教諭へも働きかけ、ポトムアップを図る。</p>												
定期歯科健診状況																																												
H23	H24	H25																																										
受診者数																																												
3271人	3319人	3270人																																										
DMF歯数																																												
1.7	1.5	1.3																																										

所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検診事業	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	20・30歳における喪失歯のない人の割合増加  20・30歳の進行した歯肉炎を有する人の割合減少	△	△	○	○	喪失歯のない人の割合(20歳)	H23	H24	H25	平成25年度の新たな取り組みとして、地域職域連携の一環として、市内大型店舗への歯周疾患予防及び口臭予防に関するポスター掲示による啓発を図った。また、平成26年度は若い世代へのアプローチの一環として、市内高校大学へ歯周疾患予防のポスター掲示による啓発を図ったり、成人のつどいにおける啓発グッズを配布し、歯や口の健康づくりへの関心を高める啓発を実施した。また、母と子のつどいや依頼の健康教育において、歯周疾患予防の啓発強化を図った。	問診票の啓発面の内容変更を行い、歯間補助道具についての啓発内容を追加し、積極的な活用の推進を図る。				
									94.5%	94.9%	—							
									喪失歯のない人の割合(30歳)	91.1%	93.3%	92.8%						
									喪失歯のない人の割合(40歳)	79.8%	80.1%	85.9%						
									進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(20歳)	35.8%	45.3%	—						
									進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(30歳)	42.3%	51.5%	53.6%						
									進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合(40歳)	58.5%	57.6%	62.0%						
									訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上	H23	H24	H25				口腔ケアを継続していくことにより「食べる」「飲み込む」等の口腔機能が向上したと感じた利用者が70%であった。口腔ケアによる機能向上が期待できるため、当事業の今後の役割は大きいものと思われる。また、急速な高齢化に伴い在宅療養者の増加が予想される。地域医療との連携調整が必要となるため、平成26年度より福祉政策課へ業務移管し、調整を図っている。	在宅医療・介護連携推進事業の取組みの中で、医科-歯科連携は要介護者の生活の質の向上を図る上で重要な取組みである。特区に基づく歯科衛生士在宅療養管理指導の仕組みを活用した「口腔ケアセンター」の活動と連携させて、多職種に対する口腔ケアの重要性の啓発を行い、訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の普及に努める。	
									80%	80%	70%							
									○									

(2) 定期的な歯科健康診査の受診動向																	
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加																	
所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
～H25 保健福祉部 保健福祉総務課 H26～ 保健福祉部 福祉政策課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	公益財団法人柏市医療公社、一般社団法人柏歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数	平成25年度、平成26年度ともに広報活動等を継続して行ったことにより患者数は増加しており、認知度は高まっている。今後の課題は収支改善による補助金額抑制が挙げられる。	今後も柏市医療公社と質の向上と経費のバランスを考慮した最適なサービス提供体制について検討していく				
											H23				H24	H25	
											1991人				2540人	3206人	
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検診事業(※)	対象者(満30、40、50、60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○			過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)	平成25年度の新たな取り組みとして、地域職域連携の一環として、市内大型店舗への歯周疾患予防及び口臭予防に関するポスター掲示による啓発を図った。また、平成26年度は若い世代へのアプローチの一環として、市内高校大学へ歯周疾患予防のポスター掲示による啓発を図ったり、成人のつどいにおける啓発グッズを配布し、歯や口の健康づくりへの関心を高める啓発を実施した。また、母と子のつどいや依頼の健康教育において、歯周疾患予防の啓発強化を図った。	検診を受診した方へ、年に1回の定期健診受診を歯科医師からもアプローチしてもらうよう、マニュアルにわかりやすく明記し、協力を仰ぐ。				
											H23				H24	H25	
											20歳						
											24.8%				23.9%	—	
											30歳						
											25.4%				26.0%	21.5%	
											40歳						
											26.8%				21.9%	25.4%	
											50歳						
											24.9%				29.1%	30.2%	
											60歳						
											—				—	36.4%	
						全体(男性)											
						21.2%	22.1%	19.9%									
						全体(女性)											
						28.2%	26.6%	31.7%									

所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
保健所 地域健康づくり課	口腔衛生大会補助金	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓発の一環。 ・各種コンクール実施、表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画等への補助事業	柏歯科医師会教育委員会	歯や口腔の健康づくりに関心を持ち、主体的に取り組む市民が増える。	△	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数			口腔衛生大会の参加者数が増加することは市民の歯や口腔への関心増加や意識の向上につながっていることを示している。 平成26年度は柏市民文化会館改修工事のため、本大会は行わず柏まつりにおいて幅広い世代への啓発をおこなった。また、図画ポスター標語最優秀作品紹介及び啓発チラシ35,000枚を作成し、小・中学校及び公共施設等へ配布した。	柏歯科医師会との話し合いの結果、より身近な地域での啓発活動実施に向け検討を行い、積極的に実施していく。	
											H23	H24	H25			
											1533人	1635人	1924人			
保健所 地域健康づくり課	かしわ歯科相談室	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者			歯・口腔の健康に関する不安を持ちつつも受診に踏み切れない方等へ相談を行っている。 かかりつけ歯科医を持ち、定期的な受診の必要性の啓発を継続的に行っていく。	今まで同様、利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う。	
											H23	H24	H25			
											62人	64人	91人			

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備																	
⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)																	
所管課	事業名 *は再掲事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値(実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合						
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	歯や口の状態に満足している人の割合増加	△	△	○	○				H23	H24	H25	平成25年度の新たな取り組みとして、地域職域連携の一環として、市内大型店舗への歯周疾患予防及び口臭予防に関するポスター掲示による啓発を図った。また、平成26年度は若い世代へのアプローチの一環として、市内高校大学へ歯周疾患予防のポスター掲示による啓発を図ったり、成人のつどいにおける啓発グッズを配布し、歯や口の健康づくりへの関心を高める啓発を実施した。また、母と子のつどいや依頼の健康教育において、歯周疾患予防の啓発強化を図った。	セルフケアとプロフェッショナルケアの重要性を伝え、歯間補助用具とかかりつけ歯科医の推進を啓発強化する。	
												20歳					
												49.5%	52.1%	—			
												30歳					
												26.8%	30.8%	38.7%			
												40歳					
												33.8%	25.4%	35.1%			
												50歳					
												27.5%	29.7%	28.3%			
												60歳					
												—	—	28.3%			
全体(男性)																	
40.1	34.4	36.8															
全体(女性)																	
28.2%	30.6%	32.6%															
保健所 地域健康づくり課	かしわ歯科相談室(*)	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	○		かしわ歯科相談室利用者			歯・口腔の健康に関する不安を持ちつつも受診に踏み切れない方等へ相談を行っている。当事業においてもかかりつけ歯科医を持ち、定期的な受診の必要性の啓発を継続的に行っていく。	今まで同様、利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う。	
												H23	H24	H25			
												62人	64人	91人			

7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防																																																																				
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少																																																																				
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																																																																				
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少																																																																				
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少																																																																				
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																																																																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																										
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	メタボリックシンドロームの予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								<table border="1"> <tr><th colspan="3">受診者数</th></tr> <tr><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>105人</td><td>132人</td><td>145人</td></tr> </table>	受診者数			H23	H24	H25	105人	132人	145人	対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	同内容で継続。受診後の必要者のフォローについて、生活保護担当課と更に連携を図っていく。																																													
					受診者数																																																															
H23	H24	H25																																																																		
105人	132人	145人																																																																		
市民生 活部 保険年 金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防								<table border="1"> <tr><th colspan="3">特定健康診査受診率</th></tr> <tr><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>39.7%</td><td>38.2%</td><td>40.0%</td></tr> <tr><th colspan="3">特定保健指導実施率</th></tr> <tr><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>14.2%</td><td>18.3%</td><td>18.9%</td></tr> <tr><th colspan="3">メタボリックシンドローム該当者の割合</th></tr> <tr><th>男性</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>23.1%</td><td>23.60%</td><td>23.60%</td><td>23.60%</td></tr> <tr><th>女性</th><td>7.5%</td><td>7.50%</td><td>7.20%</td></tr> <tr><th colspan="3">メタボリックシンドローム予備群の割合</th></tr> <tr><th>男性</th><td>18.2%</td><td>17.80%</td><td>17.40%</td></tr> <tr><th>女性</th><td>6.2%</td><td>5.80%</td><td>5.80%</td></tr> <tr><th colspan="3">ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)</th></tr> <tr><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>7.30%</td><td>7.70%</td><td>7.80%</td></tr> </table>	特定健康診査受診率			H23	H24	H25	39.7%	38.2%	40.0%	特定保健指導実施率			H23	H24	H25	14.2%	18.3%	18.9%	メタボリックシンドローム該当者の割合			男性	H23	H24	H25	23.1%	23.60%	23.60%	23.60%	女性	7.5%	7.50%	7.20%	メタボリックシンドローム予備群の割合			男性	18.2%	17.80%	17.40%	女性	6.2%	5.80%	5.80%	ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)			H23	H24	H25	7.30%	7.70%	7.80%	<p>・受診勧奨等に取り組み健診受診率は前年度を上回ったが目標値(45%)を達成できておらず、受診率向上が課題。26年度は試行的に集団健診で大腸がん検診の同日実施を行うなど受診者の利便性向上を図った。</p> <p>・CKD対策として、26年度より健診記録票にeGFRを表記。</p> <p>・保健指導実施率は前年度を上回ったが目標実施率(25%)を達成できておらず、実施率向上が課題。25年度から千葉県厚生農業共同組合連合会に特定保健指導の委託を開始し、実施率向上を図っている。</p>	関係機関や他部署との連携を図り、さらに健診受診率向上、保健指導実施率向上に向けた取り組みを推進する。	
					特定健康診査受診率																																																															
					H23	H24	H25																																																													
					39.7%	38.2%	40.0%																																																													
					特定保健指導実施率																																																															
					H23	H24	H25																																																													
					14.2%	18.3%	18.9%																																																													
					メタボリックシンドローム該当者の割合																																																															
					男性	H23	H24	H25																																																												
					23.1%	23.60%	23.60%	23.60%																																																												
女性	7.5%	7.50%	7.20%																																																																	
メタボリックシンドローム予備群の割合																																																																				
男性	18.2%	17.80%	17.40%																																																																	
女性	6.2%	5.80%	5.80%																																																																	
ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合)																																																																				
H23	H24	H25																																																																		
7.30%	7.70%	7.80%																																																																		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から39 歳の健診)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づき保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から39歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業に利用できる。18 歳から39歳の健診事業 は26年度からの新規事 業。受診希望者に対し受 診券を発行し、特定健診 と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健 康の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予 防								18歳から39歳の健診実施状況	平成26年度の18歳から39歳 の健診の受診券発行数は 72人、受診者数37人(H 27.2.24時点)。	18歳から39歳の健診 の周知に努め、受診 者数の増加を図る。 健診結果を確認し、 必要な対象者への保 健指導及び受診勧奨 等を実施する。		
											H23	H24				H25
											未実施	未実施				未実施

- (2) 定期的な健康診査の受診
- ⑥ 柏市国民健康保険特定健康審査の受診率(法定報告)の増加
  - ⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加
  - ⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康 保険特定 健康診査・ 特定保健指 導(*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加 入者を対象に、生活習慣 病予防を目的とした健診 を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタ ボリックシンドロームのリス クのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣 改善のための特定保健 指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保 健予防財団</li> <li>・人間ドック、 脳ドック実施 医療機関</li> <li>・JA(ちば東 葛、東葛ふた ば、いちか わ)</li> <li>・千葉県厚生 農業共同組 合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議 所</li> </ul>	生活習慣病の 発症及び重症 化の予防								特定健康診査受診率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診勧奨等に取り組み健 診受診率は前年度を上回っ たが目標値(45%)を達成でき ておらず、受診率向上が課 題。26年度は試行的に集団 健診で大腸がん検診の同日 実施を行うなど受診者の利 便性向上を図った。</li> <li>・CKD対策として、26年度よ り健診記録票にeGFRを表 記。</li> <li>・保健指導実施率は前年度 を上回ったが目標実施率 (25%)を達成できておらず、 実施率向上が課題。25年度 から千葉県厚生農業共同組 合連合会に特定保健指導の 委託を開始し、実施率向上 を図っている。</li> </ul>	関係機関や他部署と の連携を図り、さらに 健診受診率向上、保 健指導実施率向上に 向けた取り組みを推 進する。			
											H23	H24				H25	
											39.7%	38.2%				40.0%	
											特定保健指導実施率						
											14.2%	18.3%				18.9%	
											メタボリックシンドローム 該当者の割合						
											男性23.1%	23.60%				23.60%	
											女性7.5%	7.50%				7.20%	
											メタボリックシンドローム 予備群の割合						
											男性18.2%	17.80%				17.40%	
						女性6.2%	5.80%	5.80%									
						ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP 値で6.5%以上の人の割合											
						7.30%	7.70%	7.80%									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (* )	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防								18歳から39歳の健診実施状況 H23 H24 H25 未実施 未実施 未実施	平成26年度の18歳から39歳の健診の受診券発行数は72人、受診者数37人(H27.2.24時点)。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果を確認し、必要な対象者への保健指導及び受診勧奨等を実施する。	
保健所 成人健診課	柏市健康診査 (無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								受診者数 H23 H24 H25 105人 132人 145人	対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	同内容で継続。 受診後の必要者のフォローについて、生活保護担当課と更に連携を図っていく。	

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																								
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																								
②循環器疾患による死亡者数の減少																								
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																								
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑤収縮期血圧が140mmHg以上人の割合(40歳以上)の減少																								
⑥拡張期血圧が90mmHg以上人の割合(40歳以上)の減少																								
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方針	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24	H25											
保健所 成人健診課	柏市健康診査(無保険者) (* )	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。									受診者数	対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	同内容で継続。受診後の必要者のフォローについて、生活保護担当課と更に連携を図っていく。									
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防										特定健康診査受診率(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診勧奨等に取り組み健診受診率は前年度を上回ったが目標値(45%)を達成できておらず、受診率向上が課題。26年度は試行的に集団健診で大腸がん検診の同日実施を行うなど受診者の利便性向上を図った。</li> <li>・CKD対策として、26年度より健診記録票にeGFRを表記。</li> <li>・保健指導実施率は前年度を上回ったが目標実施率(25%)を達成できておらず、実施率向上が課題。25年度から千葉県厚生農業共同組合連合会に特定保健指導の委託を開始し、実施率向上を図っている。</li> </ul>	関係機関や他部署との連携を図り、さらに健診受診率向上、保健指導実施率向上に向けた取り組みを推進する。								
																			H23	H24	H25			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期						
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業(18歳から39歳の健診)(*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防								18歳から39歳の健診実施状況	平成26年度の18歳から39歳の健診の受診券発行数は72人、受診者数37人(H27.2.24時点)。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果を確認し、必要な対象者への保健指導及び受診勧奨等を実施する。		
											H23	H24				H25
											未実施	未実施				未実施

(2) 定期的な健康診査の受診

⑥【再掲】柏市国民健康保険特定健康審査の受診率(法定報告)の増加

⑦【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加

⑧循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(*)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> </ul>	生活習慣病の発症及び重症化の予防								特定健康診査受診率(再掲)	<p>・受診勧奨等に取り組み健診受診率は前年度を上回ったが目標値(45%)を達成できておらず、受診率向上が課題。26年度は試行的に集団健診で大腸がん検診の同日実施を行うなど受診者の利便性向上を図った。</p> <p>・CKD対策として、26年度より健診記録票にeGFRを表記。</p> <p>・保健指導実施率は前年度を上回ったが目標実施率(25%)を達成できておらず、実施率向上が課題。25年度から千葉県厚生農業共同組合連合会に特定保健指導の委託を開始し、実施率向上を図っている。</p>	関係機関や他部署との連携を図り、さらに健診受診率向上、保健指導実施率向上に向けた取り組みを推進する。			
											H23	H24				H25	
											39.7%	38.2%				40.0%	
											特定保健指導実施率(再掲)						
											14.2%	18.3%				18.9%	
											LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)						
											男性26.2%	26.10%				27.40%	
											女性35.9%	35.80%				36.20%	
											収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)						
											男性30.2%	27.50%				26.8%	
											女性23.6%	22.20%				22.20%	
											拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)						
						男性16.4%	15.10%	15.10%									
						女性9.7%	8.50%	8.80%									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防								18歳から39歳の健診実施状況	平成26年度の18歳から39歳の健診の受診券発行数は72人、受診者数37人(H27.2.24時点)。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果を確認し、必要な対象者への保健指導及び受診勧奨等を実施する。	
保健所 成人健診課	柏市健康診査(無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								受診者数	対象者が増加傾向にあり、申込者数、受診者数についても増加している。既に疾患を抱えている対象者も多く、受診後のフォローについて課題であり、必要時ケースワーカーに連絡するなどに対応。	同内容で継続。受診後の必要者のフォローについて、生活保護担当課と更に連携を図っていく。	

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及														
①がんによる死亡者数の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
保健所総務企画課	がん対策	・がん対策検討会議(議員および庁内関係部署、がん診療連携拠点病院)の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報告	庁内関係部署 がん診療連携拠点病院 医師会など	「柏市がん対策基本条例」に基づき関係機関との連携のもと、がん対策を効果的かつ効率的に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況 H23 H24 H25 5回 4回 4回	担当部署、関係機関と定期的に会議を開催し、情報共有のもと連携した事業をすすめた。 平成26年度も更に継続し、関係機関、部署との連携構築を進めた。	平成27年度においても継続し、更なる充実を図る。	
保健所保健予防課 保健所成人健診課	柏市緊急肝炎ウイルス検査(平成26年より肝炎ウイルス検査に名称変更)	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ			○	○	○	○	肺炎ウイルス検査実施数 H23 H24 H25 1,141 1,444 1,182	平成25年度は市報やホームページ掲載、ちらし配布等で広報し実施。平成26年度より、40歳以上の市民を対象とした健康増進法による肝炎ウイルス検査を成人健診課が開始し、40歳以上の5歳刻み年齢の方には個別通知による案内を送付し、より多くの方に受検いただけるよう取り組んでいる。	引き続き、これまで検査を受けたことがない市民の方が検査を受けられるよう周知。併せて、検査で陽性と判明した方が肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐため、健診後の精密検査を含めた受診勧奨をすすめていく。	
保健所成人健診課	がん検診推進事業(無料健診)	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、大腸、乳、子宮頸がん検診。	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。					△	○	クーポン利用率 H23 H24 H25 大腸がん 13.5% 12.8% 14.1% 乳がん 26.4% 28.6% 25.3% 子宮がん 19.6% 23.0% 18.1%	乳、子宮は、H25で通知対象が一巡した。 対象がん検診の受診率を約5%向上させる成果があったが、継続受診に結びついていない。 H26は、乳、子宮の受診者を自動的に登録し、継続受診を促していく予定。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく	
保健所成人健診課	成人健診事業(健康づくり普及・啓発)	がん検診登録勧奨、がん予防の啓発を目的に、各種媒体を利用、特定の年齢・転入者等には個別通知。モデル地域を設定し、健康講座の実施など重点的に普及啓発活動を行っている。	ふるさと協議会 柏市医師会 庁内関係部署 専門医療機関	新規登録者数の増加			△	○	○	○	新規登録者数(延人数) H23 H24 H25 32,362人 23,546人 29,077人	新規登録者の伸び悩みが課題であり、子宮がん検診において、メール配信を利用した登録勧奨を行ったところ、新規登録者が増加。今後も、電子媒体を活用した勧奨方法を計画していく。	従来の啓発活動に加え、スプリングレビューの結果を踏まえ、子宮頸がん検診の受診率向上対策を重点的に進めていく予定。	

(2)がん検診の受診															
②胃がん検診受診率の増加															
③大腸がん検診受診率の増加															
④子宮がん検診受診率の増加															
⑤乳がん検診受診率の増加															
⑥結核・肺がん検診受診率の増加															
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成25年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成26年度の取り組みについて	平成27年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 成人健診課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	各がんの早期発見、早期治療に結びつける。				△	○	○	がん受診率	大腸がん検診を除き、受診率は減少傾向にある。実施通知が行っても、既に医療機関で受診した、自覚症状がある、受診中などの理由でキャンセル者が多いことも一因であると考える。啓発の推進や受けやすい検診の工夫、登録勧奨を行った。	受診率向上対策としての無料検診、スプリングレビュー結果としての子宮頸がん検診受診率向上対策など、啓発の推進と受けやすい検診の実施を計画していく。		
										H23	H24				H25
										12.4%	11.9%				11.1%
										19.5%	19.3%				19.4%
										22.3%	23.3%				20.5%
										28.4%	29.6%				28.3%
										16.4%	16.5%				16.0%
保健所 成人健診課	がん検診推進事業(無料健診)	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、大腸、乳、子宮頸がん検診。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受けるとききっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。				△	○		クーポン利用率	乳、子宮は、H25で通知対象が一巡した。対象がん検診の受診率を約5%向上させる成果があったが、継続受診に結びついていない。H26は、乳、子宮の受診者を自動的に登録し、継続受診を促していく予定。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく		
										H23	H24				H25
										13.5%	12.8%				14.1%
										26.4%	28.6%				25.3%
										19.6%	23.0%				18.1%